

前期学校評価の結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に格別のご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

生徒がよりよい学校生活を送ることができるよう、学校では毎年2回、学校の取組について評価し、改善を図るための「学校評価」を行っています。生徒アンケート、教職員アンケート、保護者の皆様にもご協力いただいたアンケート結果をもとに、今後の対策を考え、取り組んでいきます。7月に行った前期学校評価について報告いたしますとともに、後期へ向けて改善につなげていきます。

生徒一人一人が、充実した学校生活を送れるよう教職員一同努めてまいりますので、今後ともご理解、ご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

() の 数字は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合(%)
(令和六年度前期→令和六年度後期→令和七年度前期)の推移を表している。

1. 学習について

(1) わかりやすい授業

生徒「授業がわかりやすい」	(89→91→88)
---------------	------------

(2) 活用力の向上

生徒「学んだことを自分の生き方や考え方、社会生活の中で活かそうとしている」	(80→84→81)
---------------------------------------	------------

(3) 読書活動の充実

生徒「朝読書に真剣に取り組んでいる」	(84→85→85)
保護者「お子さまと、読書に関わることについて話すことがある」	(28→26→31)

(4) 学習規律の徹底

生徒「チャイムスタートを意識して行動している」	(89→93→88)
生徒「授業の始めと終わりの挨拶をしっかりしている」	(92→90→89)
生徒「授業では正しい姿勢で授業を受けている」	(72→76→71)

(5) 家庭学習の充実

保護者「お子さまには、家庭学習の習慣がついている」	(62→63→66)
---------------------------	------------

＜今後の改善策＞

わかりやすい授業・キャリア教育の充実

「授業が分かりやすい」という質問項目への肯定的な回答は、今年度前期とほぼ変動はありませんでした。ICT機器を有効に活用することで、生徒もいろいろな視点から学習すること・自分の意見が発表できるよう効果的なグループ学習などをさらにすすめ、引き続き、どの生徒に対しても分かりやすいと思える授業を実践できるよう努力してまいります。

読書活動の充実については、月1回程度クラス別に図書館で朝読書を行ったり、教職員によるブックトークを行ったりと取組継続してきました。その結果、徐々にではありますが、読書への意欲が向上してきていると思われます。今後もさらに工夫し、ご家庭でも本の話がしたくなるような魅力ある読書活動に取り組んでまいります。

また、授業規律の徹底に関してはどの項目も残念ながら下降傾向にあります。授業規律が徹底されると生活にもメリハリがつき、集中力も増していくものと考えます。なぜ、授業規律が大切なのかを理解してもらうよう努力してまいります。

2. 生活について

(1)規則正しい生活

生徒「起床、就寝時間を決めて生活している」	(65→65→73)
保護者「お子さまは、起床時間や就寝時間など、規則正しい生活を送っている」	(64→67→70)
生徒「SNSの時間を使用時間を決めて守っている」	(49→47→42)
保護者「お子さまは、SNSの時間を決めて守っている」	(42→38→50)

(2)あいさつ

生徒「気持ちの伝わるあいさつを自分からしている」	(86→88→89)
保護者「鶴中生は、学校や地域で自分から気持ちの伝わるあいさつをしている」	(86→84→85)

(3)道徳教育の充実

生徒「友達に対して、思いやりの心で行動している」	(95→95→95)
保護者「お子さまは、友達に対して、思いやりの心を持っている」	(97→96→96)

(4)生徒指導・教育相談の充実

生徒「学校ではいじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごすことができる」	(95→96→97)
保護者「お子さまは、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている」	(90→91→94)
生徒「先生は、自分の良いところや頑張ったことを褒めてくれたり認めてくれたりする」	(90→94→90)
保護者「お子さまは、学校で良いところや頑張ったことを褒められたり、認められたりしている」	(90→93→87)

＜今後の改善策＞

「規則正しい生活」が送っている生徒が向上してまいりました。ご家庭での働きかけのおかげと感謝しております。学校でも積極的に規則正しい生活のメリットについての話をていきたいと思います。

「気持ちの伝わるあいさつ」については生徒、保護者ともほぼ横ばいの状態でした。社会生活の基盤となるあいさつの重要性を伝えながら、一人一人の気分がよくなるあいさつを目指して今後も取り組んでまいります。

「思いやりの心」や「安心・安全な学校」についてはすべての項目が高い水準で安定しているといえます。全ての項目100%を目指し、誰もが安心で楽しく学校生活が送れるよう、生徒への声掛けや認めなど「対話」を重視しながら見守ってまいります。

今年度も「SNSの使い方」について大きな問題としてとらえております。学校でも、たびたび注意喚起を行っていますが、様々な課題があるのが現状です。SNSによる睡眠時間、勉強時間の減少が問題となっております。また、トラブルに巻き込まれる可能性も依然として高い状況であります。

学校でも危機感をもってこの問題に取り組んでまいります。保護者の皆様方には学校による注意喚起や外部機関との連携を高めていく試みへのご理解、ご協力をお願ひいたします。

3. その他の項目について

(1)特別活動の充実

生徒「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加（協力）している」	(79→83→74)
教職員「生徒は、主体的に学校行事に取り組んでいる」	(83→95→84)

(2)対話力の育成

生徒「自分の思いや考えを話すなどして伝えることができる」	(R7年度前期)
教職員「生徒は自分の思いや考えを話すなどして伝えることができる」	(R7年度前期)

＜今後の改善策＞

生徒会活動の充実

1学期は生徒会での大きな行事はなく残念ながら前年度より大きく下回ってしまいました。自主的な魅力ある取組を行うことで、学校生活にも活気が生まれてくるよう努力いたします。また、些細なことであっても学校に貢献していることを自覚できるよう、声掛けを心がけ、「自分は誰かの役に立っている」と感じられるような活動を大切にしていきます。

対話力の育成

今年度「対話力の育成」を学校の大きなテーマとし、取り組んでおります。

今回初めてアンケートに「自分の考えを伝えることができるか」という項目を加えました。予想以上に高い数値を得ることができました。これは、小学校からの積み重ねの成果であると思います。中学校では、さらに高めていけるよう、生活の中で「ほめ、認め、価値づける」ことを意識した生徒指導、学習の中で「必然性のあるペア・グループ学習」を積極的に行ってまいります。

4. 学校関係者評価委員会・学校運営協議会より

P T A 代表、地域代表の方による学校関係者評価委員会、及び学校運営協議会を9月に開催し、前期学校評価に関する分析、今後の改善策等についてご意見をいただきました。

○参観し、授業中の姿勢が悪い子が多いのが気になる。視力の低下など健康面が心配です。大人になって苦労するので今のうちに改善してほしい。

○SNS 関連の問題は学校だけの問題ではないと思う。家庭も一緒に取り組んでほしい。

→生徒と保護者が一緒に参加できるような講演会などを計画し、一緒に考えていけるような場を作っていくたいと考えています。

○地域と一体となって子どもを育てていく取組として、授業のボランティアを募集してはどうか。
(例えば家庭科の裁縫の授業の時サポートしてもらうなど・・)

○学校運営協議会と生徒会での意見交換の場を設定し、ともにできることを模索していきたいと考えている。

※今回も地域や保護者の皆様と協力して子どもたちを育てていくことがとても大切であると改めて感じました。いただきました貴重なご質問やご意見を今後の学校教育に生かしてまいります。誠にありがとうございました。